



6年生に感謝の気持ちを伝える

3月7日(木)に「夢に向かって走り出せ 6年生ありがとう♡集会」を体育館で行いました。6、70人ほどの保護者の皆様にも、その様子を見ていただきました。ご参観ありがとうございました。

集会名の通り、1年生から5年生までの潮見っ子が、6年生への感謝の気持ちを表しました。各学年の内容は、以下の通りです。

1年生は「ちびっこ応援団」です。各色の応援団が登場し、6年生にエールを贈りました。ダンスも披露しました。一人一人が大きな声を出して、6年生を励ました。1年生全体の明るい声が、6年生に届いたはずですが、最後は、1年生の応援団の指揮による在校生全体の応援となりました。1年生が、全体を動かす様子には感動しました。

2年生は、「王冠のプレゼント」です。明るい色の色画用紙を使って王冠の形を作り、飾りは2年生の子どもたちが思い思いにつけたものです。学校に関する絵を描いたり、励まし言葉を書いたりしていました。その王冠を2年生が直接6年生にかぶせていました。6年生の表情も、会場全体も明るくなりました。

3年生は、「6年生と対決！」です。フラフープ、縄跳び(二重跳び)、片足立ちの対決(時間内に続けられた人数で勝敗を決める)を行いました。フラフープと縄跳びは選抜チームで勝負をしました。フラフープは引き分け、縄跳びは6年生が勝利しました。片足立ち(目を閉じた状態)は、全員参加。これも6年生が勝ちました。「対決」とは言うものの、どちらにも応援する声が届けられ、勝っても負けてもお互い笑顔の対戦となりました。

4年生は、「メッセージ for 6年生」です。4年生が、日頃からの感謝の気持ちをこめて作ったメッセージカードを作り、それを渡しました。丁寧に装飾したり、飛び出すように工夫をしたりして、6年生が喜ぶ姿を想像しながら作ったことがよく分かりました。手渡されたメッセージカードを見て、6年生は大変喜んでいました。

5年生は、「こんなことあったよね」です。4、5、6年生の出来事を劇で表現しながら、クイズを出しました。私は、今年のことしか知らないのですが、それでも「そんなことがあったんだ」と思えるほど楽しく劇を見ることができました。クイズには6年生だけでなく、1



年生から4年生まで参加して楽しんでいました。笑顔一杯の出し物でした。

在校生の発表を受けて、6年生がお礼として「おどるポンポコリン」のリコーダーを演奏しました。みんなが知っている曲なので、6年生以外の子どもたちは、リコーダーに合わせて歌を歌っていました。会場全体がこの日の天気のように春らしい温かい雰囲気になりました。

どの学年も感謝の思いを一生懸命伝えていました。

5年生については、もう少し伝えたいことがあります。この会を開くまでの計画、準備をととても頑張ったことです。出し物の練習もそうですが、当日の進行や代表の挨拶も緊張したことと思いますが、堂々で行いました。これまで6年生が中心になっていたことを、5年生が責任をもって行いました。体育館に掲示していたメッセージも、5年生の各クラスが考え、作成したものです。内容やデザインは6年生の心に残ることでしょう。さらに、開会のときのクラッカーや退場のときの紙吹雪なども、子どもたちが出したアイデアでした。来年度の活躍が期待できる、今回の5年生の活動でした。

6年生を贈る会は、卒業生にとって、「夢に向かって走り出す」ための励みになる会となりました。在校生にとっては、「6年生ありがとう♡」の感謝の気持ちを伝えることで、次の学年に向けての意欲が芽生える会となりました。

6年生が感謝の気持ちを伝える

6年生が、3月7日・8日・12日の昼休みに、在校生に喜んでもらおうと、卒業プロジェクトの一環として「潮見っ子祭り」を開催しました。紙飛行機大会や的当て、ペットボトルボーリングなど、7つのイベントが屋台形式で行われました。初日は3、4年生、2日目は1、2年生、3日目は5年生が対象でしたが、大勢の潮見っ子が訪れ、大変盛況でした。さすが6年生。こういったことに手慣れていて、上手にイベントを運営しました。ルールを工夫してみんなが楽しめるようにしていました。また、各コーナーで呼び込みをして、楽しさをアピールすることで全体を盛り上げていました。

スハミラタイム、6年生を送る会、潮見っ子祭りというよい流れで、年度末を迎えることができました。



【掲示したメッセージ】

「何度もありがとう わたしたちのリーダー」
「とべ大空に 未来を信じて」
「走り出せ 希望の1歩を」

